

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 29 年 1 月 31 日			
所属学部・研究科	文学部/研究科 4年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ネバダ大学 (国名: アメリカ合衆国)			
所属学部・学科等名	English literature			
在籍身分	Exchange student			
留学期間	平成 28 年 8 月 26 日 ~ 平成 28 年 12 月 20 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: J-1			
	ビザ申請先: 東京			
	取得方法, 提出書類: 書類申請後、面接の予約をし、東京のアメリカ大使館にて面接。後日ビザ発行			
	手続きに要した日数: 約3週間			
その他必要な事前手続き	予防接種、寮の確保			
出国年月日	平成 28 年 8 月 19 日			
経路	福岡→仁川(韓国)→シアトル→リノ・タホ			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	学生証の発行方法、銀行開設手順など			
帰国年月日	平成 28 年 12 月 29 日			
経路	ニューヨーク→台湾・桃園→福岡			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	1000, 000	円	
	内訳	渡航費	170,000	円
		保険料	15,000	円
		教科書代(学費)	30,000	円
		宿舍費	200,000	円
		食費	80,000	円
		その他 (交際 費) (費) (費)	約 400,000	円 円 円
3. 授業について				
4年 秋 学期	8月 26日 ~ 12月 20日			

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	歴史系、言語系、政治系、英語のライティングのクラスを受講。 歴史系の授業では毎回ディスカッションがあった。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	リスニング力が最も重要と思われる。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> その他 (international house)
住居の広さ	約 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (1人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり 460 ドル (現地通貨) 約 50,000 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	寮はすごく高く、寮に併設されているカフェテリアの食事も一辺倒で飽きるらしい
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 約 15,000 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	すごく高いらしい。友人が虫歯になり、痛すぎて歯医者に行くと 150,000 かかると医者に言われたらしい。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	手洗い、うがい	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
なし		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 30 年 3 月	(当初の卒業予定年月 平成 29 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input checked="" type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input checked="" type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	就職活動を行う予定	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫		
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
<p>アメリカは思っていたよりも平和。 留学中は勿論のこと、留学前の準備がすごく大事だと感じた。特に、話す能力以前に、相手の言っていることがちゃんと聞けて、理解できないと元も子もないのでリスニングはしっかりやっておくべき。</p>		

学習の概要に関するレポート

私はたった1セメスターのみの滞在だったので皆さんの参考になるかは分かりませんが一応、1セメスターの間にやってきたことを書き記したいと思います。私が受講したクラスは **Asian American History, Spanish, Politics, English composition** の4つです。4年次に留学したため単位互換をする必要がなく、興味のある授業だけを選択しました。皆さんご存知の通り、昨年は大統領選挙が実施されたため、政治学の授業は教授の見解や、クラスメイトの意見も聞くことが出来てなかなか興味深いものでした。ネバダ大学は工学系統、ジャーナリズム系統の学問が全米トップクラスの実力だそうです。ジャーナリズムなんかは広島大にはないので、受講してみるのも良いかもしれません。授業の詳細に関してですが、今までの先輩方が記してある通り、膨大な量の **reading assignment** が課されます。1/3 ページで、リスニング対策が肝要と述べましたが、1セメスターだけ留学される方は多読もしっかりしておいたほうが良いかもしれません。準備不足だと、不完全燃焼で帰国を余儀なくされてしまいます。私の場合、歴史の授業が最も **reading assignment** が多く、毎回ディスカッションがあつて準備が大変だったのですが、しっかりと準備をしていけば、置いてけぼりにされることはありませんし、授業で発言すればしっかり評価されます。授業にあたっての準備、出国前にできる準備、すごく大事です。孫子も言っていますが、「勝敗は戦う前に決する」です。留学前の英語の勉強量で、留学の成果が変わると思います。

生活の概要に関するレポート

ここでは現地での生活の概要を「衣・食・住」に分けて記したいと思います。

【衣】

ネバダは一日の寒暖差がかなりある街です。朝晩は3-4℃だったのに昼は20℃近くまで気温が上昇するというようなこともよくあります。ですのでマウンテンパーカーなどを持って行けば重宝します。また、1年間行かれる方は洋服でキャリーケースがパンパンになってしまうかと思います。個人的にはあまりたくさん洋服を持っていく必要はないと思います。11月の第4金曜日にBlack Fridayという大セールがあり、多くの店が7, 8割の値段でコートなどを販売したりします。そんな安いコートを買って、冬が終わったら捨ててしまえば荷物もかさばらず、いいかなと思います。

【食】

私は学生寮ではなく、キリスト教徒が支援、運営する international house に滞在していました。無論私はキリスト教徒ではありませんが、宗教に関係なく誰でも歓迎していただけます。その関係で、キッチンを持っていたこともあり、ほとんど自炊で済ませました。月に2回ほど、仲の良くなったアメリカ人であったり家のオーナーが近所のスーパーまで買い物に連れていってくれます。外食するとすれば、一回でかなりの金額がかかるので、奨学金をもらえてる人はたくさん外食していいと思います。もらえていない人は自炊で済ませたほうが良いと思います。学内にあるレストランの味は普通です。普通に食べれます。日本食が恋しくなってしまうも大丈夫です。星の数ほど寿司屋があります。どの店も普通です。あまり期待はしないほうが良いですが。アジアマーケットも同じく沢山あるのでいつでも日本食、日本の調味料は手に入ると言えます。

【住】

前述した通り、学生寮の抽選に外れ international house に滞在していました。結果から言うと、international houseの方が優れていると言えます。その理由は値段とキッチンの有無です。International houseの部屋次第ですが、最大で寮の半分くらいの値段で住めます。キッチンがあれば好きな時に好きなだけ健康な食事をとることが出来ます。唯一欠点を上げるとすれば、international houseはアメリカ人以外の留学生しか住んでいないため、ネイティブの友達が出来にくいかもしれません。ですが、大学には日本語学習者のサークルがあるのでそこに入ればアメリカ人と友達になれます。

以上です。まだ情報は出し切れてないので、もしネバダ大学に行かれる方で何か聞きたいことがありましたら連絡いただければ何かお手伝いできるやもしれません。